

(8) WG 14：機械化掘削

部会長：L. Delplace（ベルギー）

副部会長：M. Scialpi（アメリカ）

担当理事：S. Log（ノルウェー）

本 WG は機械化掘削（TBM・シールド）をテーマとし、48 名の会場参加と WEB 参加があった。数年にわたり、以下 4 つのタスクグループで活動してきた。

- TBM 仕様ガイドライン
- TBM 推力評価
- 機械化トンネル掘削の持続性（出版済み）
- 掘削管理システム

このうち以下 2 つのタスクグループが今年出版したガイドラインの紹介があった。

- BM 装備仕様に関する推奨ガイドライン（WG3 との協働）
- 低強度岩盤における開放モードシールド付き TBM の推力評価

ワークグループのセッションでは、今後の活動方針の議論を行い 20 以上のトピックを抽出し、ここから今後の取組項目を以下の 6 つに決定した。

TG1：掘削管理システム（2028 年に出版予定）

TG2：軟弱地山における TBM トンネル掘削の摩耗計測および予測

TG3：EPB トンネル掘削における土質性状改質

TG4：機械化トンネル掘削と NATM 式トンネル掘削工法の対比

TG5：TBM 故障の分類と評価指標

TG6：TBM オペレーションとデータ管理の標準化

（文責：上村城司・JIMT）

WG14 の活動状況はこちらから

[Working Group 14: Mechanised Tunnelling](#)